

厚生・産業常任委員会 県外行政調査

1 調査日 平成26年11月4日（火）～6日（木）

2 調査の概要

11月4日（火）

（1）涌谷町町民医療福祉センター（宮城県遠田郡涌谷町）

調査事項：地域包括ケアシステムの概要、現状と課題等について

同センターは、町民の日常生活（食事、運動、休養）を通しての健康づくりから、病気の予防、早期発見、再発予防、継続療養、リハビリテーション、介護および福祉事業まで総合的な事業を展開しているが、来るべき少子高齢化社会に備えるために、保健、医療、介護、福祉のサービスを一体的に提供するため、町立病院も含めた地域包括ケアシステムを昭和63年11月の開設時から確立している。

また、この地域包括ケアシステムは、住民に対して身近で総合的、継続的なサービスを展開し、住民が主体的に健康づくりや地域づくりに励めるようになることを目指している。

なお、予防活動にも力を入れており、高齢者向け介護予防事業としての体操教室や認知症の一次予防事業としての脳力アップ倶楽部を地域で開催している。

については、地域包括ケアシステムの構築は、本県においても課題であることから、今後の本県における取り組みの参考とするため、同センターでの地域包括ケアシステムの概況や現状と課題等について調査を行った。



11月5日（水）

（2）宮城県立こども病院（宮城県仙台市）

調査事項：病院の概要と業務内容等について

同病院は、平成15年11月の開設以来、東北唯一の小児高度専門医療施設として、地域の小児医療に大きな役割を果たしてきているが、平成18年4月には、医療需要の変化や医療制度に関する諸問題に的確に対処し、自立的で弾力的な業務運営を行うため、地方独立行政法人に移行された。

また、平成18年11月には、小児専門医療施設としてはめずらしい「地域医療支援病院」の指定を受けられ、80%以上の紹介率と40%以上の逆紹介率を維持するなど他施設との連携を重視し、二次三次小児救急医療の受け入れにも努められている。

なお、本県の県立病院においては、医療の質や患者サービスの向上と病院経営の効率化、健全化を図るため、平成18年4月から病院事業に地方公営企業法を全部適用し、また今年度、県立小児保健医療センターの基本構想の策定が検討されている。

そのため、今後の本県における取り組みの参考とするため、同病院の概要と業務内容等について調査を行った。



（3）群馬県中央児童相談所（群馬県前橋市）

調査事項：児童相談所の整備体制、北部支所新設当時の概況等について

群馬県の児童相談所は、現在、中央児童相談所、中央児童相談所北部支所、西部児童相談所、東部児童相談所と各県域に4か所整備されているところであるが、平成22年4月からは、地域の児童に対する専門的な指導・訓練強化の充実等を図るため中央児童相談所北部支所を保健福祉事務所庁舎内に新設している。

また、中央児童相談所には「こどもホットライン24」が設置され、24時間・年中無休体制で、通告や相談に応じており、平成23年4月からは、中央児童相談所の一時保

護児童の処遇改善を図るため、新一時保護所を開設するなど、体制整備が進んでいるところである。

については、本県においても、新たな児童相談所の開設が喫緊の課題となっており、現時点で既存施設の改修による開設が計画されていることから、今後の参考とするため、群馬県児童相談所の整備体制や北部支所新設当時の概況等について調査を行った。



(4) 富岡製糸場（群馬県富岡市）

調査事項：施設の概要等について

富岡製糸場は、平成 17 年 7 月 14 日に国史跡に、平成 18 年 7 月 5 日には明治 8 年以前の建造物が国の重要文化財に指定され、現在は群馬県富岡市において所有、管理されている。

同施設については、平成 26 年 6 月 25 日に、ユネスコ世界文化遺産に登録されたが、富岡市においては、これを契機として、観光ガイドのパンフレットに掲載するなど、同施設ならびに市の観光PRにも力を入れている。

については、今後の本県における取り組みの参考とするため、施設の概要等について調査を行った。



11月6日（木）

（５）群馬県議会（群馬県前橋市）

調査事項①：「がんばろう群馬！産業支援総合対策」について

群馬県においては、産業支援本部を設置し、「がんばろう群馬！産業支援総合対策」を取りまとめている。

同対策においては、引き続き厳しい経営状況が続く中小企業への積極的な支援や地域に根ざした産業の活性化ならびに今後成長が期待される次世代産業分野の育成、また、富岡製糸場と絹産業遺産群の世界遺産への登録を契機とした一層の周遊観光の促進など、多項目にわたる地域経済の活性化に資する総合的な施策の推進を図っているところである。

については、本県においては、平成 25 年 4 月に施行された「滋賀県中小企業の活性化の推進に関する条例」の着実な推進のため、中小企業活性化施策実施計画を定め、総合的な施策を行っているところであり、今後の本県における取り組みの参考とするため、前日に調査を行った富岡製糸場を含む世界遺産関連の観光推進等も併せて、「がんばろう群馬！産業支援対策」について調査を行った。



調査内容②：群馬県次世代産業振興戦略、次世代産業振興戦略会議について

群馬県においては、産業構造を取り巻く環境が大きく変化する中、県内企業が今後も高い競争力を維持し、成長していくために、既存産業の振興に加えて、今後需用拡大が見込まれる産業分野を総合的に振興するため、平成 23 年 5 月に「次世代産業振興戦略会議」を設立し、市場性、将来性が期待される分野への県内中小企業の参入を促し、県経済の活性化を図ることを目的に議論等を行ってきたが、その議論を経て、平成 25 年 5 月に「群馬県次世代産業振興戦略」を策定された。

同戦略においては、国内市場の低迷や経済のグローバル化などの産業構造を取り巻く環境の変化の中で、10 年から 20 年先においても、県内のものづくり企業が時代のニー

ズに対応し、力強く生き残っていくための布石を打つことを理念としており、今後成長が見込まれる次世代産業分野として、次世代自動車、ロボット、健康科学、環境・新エネルギー、観光の5分野を位置づけている。

については、本県においては、今年度、産業振興ビジョン（仮称）の策定が予定されていることから、今後の本県における取り組みの参考とするため、調査を行った。